

令和元年度 第4回 多摩市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

■開催日時 令和元年10月21日（月） 午後4時30分～午後6時30分

■開催場所 多摩市役所 市役所第一委員会室

■出席委員 8名

小林 勉委員、永吉 英記委員、甲田 不二男委員、岩井 啓子委員、石川 秀明委員、齋藤 裕委員、若月 寛子委員、佐々木 雅士委員

■欠席委員 伊藤 智子委員、中村 一昭委員

■事務局

小林部長、鈴木課長、小泉主査、加藤主査、杉山主事、植村主事
（株）地域計画建築研究所 東京事務所 黒崎氏 遠藤氏

■傍聴者 なし

■議事次第

- 1 開会
- 2 会議録（要旨）確認
- 3 議事
 - （1）多摩市スポーツ推進計画について
 - （2）宝野公園球技場整備計画の民間提案について
- 4 その他
- 5 閉会

■配付資料

資料 1 令和元年度第3回多摩市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

資料 2 多摩市スポーツ推進計画（原案）

資料 3 宝野公園球技場整備計画概要（案）

会 議 録（要旨）

【1 開会】

事務局より配付資料の確認

【2 会議録（要旨）確認】

修正無く、承認された。

【3 議事】

（1）多摩市スポーツ推進計画（原案）について

資料2に基づいて事務局より説明

委 員：概要版はいつ頃完成するのか。

事務局：本編と同時期の1月頃に完成する予定である。

会 長：計画原案について、その他の意見がなければ、今回は、本推進計画を有効活用するために、どのように使うか、どこに配布するかなどについて、それぞれの立場からのアイデアや意見を聞かせてほしい。

委 員：医療関係機関で配布するのはどうか。通院などで病院を訪れる人の中には、健康を考えている人が多いと思う。

会 長：一見するとスポーツとは対極にあるように考えられる場所だが、良いのではないか。

委 員：公共施設、特に図書館が良いと思う。また、女性が集まるようなところに置くのも良いと思う。

委 員：置ける場所にはすべて置いてほしい。市役所には置くのか。

事務局：行政資料室に置くことになる。

委 員：行政資料室だとあまり市民の目には触れない。市役所1階のロビーなどは、待っている間に見る人がいるのではないか。

委 員：公民館で利用場所の鍵を返す時に、待っている人などの目につくように、受付の近くや市の広報紙などの近くに置くと良いのではないか。図書館では、サークル募集が貼ってある場所の近くに置くのも良いと思う。

委 員：家の近くのスーパーには血圧計があるスペースがあり、そういった場所に置くと良いのではないか。自分のまちには自然があり、運動や散歩のできる場所があるのだと知ってもらえる。そこからスポーツ活動につながれば良い。

委 員：病院の待合室のモニターで本推進計画のことを流してもらうのも良いと思う。また、床屋のような場所も良いと思う。

会 長：民間機関には、依頼して置かせてもらうことはできるか。

事務局：可能であるが、理解を得られるかはその民間機関による。

委 員：学校やPTAには配布するのか。

委 員：概要版を配布するのは良いと思う。

事務局：本推進計画を策定するにあたって小学校PTA連絡協議会にヒアリングしたので、フィードバックしたいと考えている。

委 員：小学校PTA連絡協議会とPTAは違うので、学校のPTAに配布したいなら、PTA会長あてに配布した方が良いと思う。

委員：冊子を置いておけば持って行くだろうというのは、考え方が甘いと思う。体育協会やスポーツ推進委員などが口頭で伝えていく方が浸透する。

会長：「置いておく」という受身ではなくて、例えば、各委員がそれぞれの場所で説明するといったことが大事だと思う。

委員：例えばハロウィンのイベントなどで、市が本推進計画を紹介する時間を持つのも良いと思う。本市は楽しい行事をいろいろ行っているのだから、人が多く集まる機会を活用したら良いのではないか。

委員：概要版を駅前配布するのも良いと思う。

会長：何部印刷する予定なのか。

事務局：本編を300部、概要版は500部の予定である。加えて、市のホームページに掲載するほか、どれだけ紙面が確保できるかはわからないが、計画が完成したことを市の広報紙に掲載する予定である。

委員：概要版で500部は少ないのではないか。

事務局：本編についてだが、市の計画書、報告書などの刊行物は有料になると決まっている。概要版は無料になるかもしれない。

委員：販売価格は決まっているのか。

事務局：おそらく200円程度になると思う。計画書から生み出される成果として、計画書に記載した「3つの推進力」の1つである「コミュニケーション〈情報・対話〉」の実現策として、スポーツ情報のリーフレットを作成し、具体的な事業を記載したものを7万部程度印刷したいと思っている。

会長：概要版に、本編はここから見られる、という案内があれば良い。それから郵便局に協力してもらっても良い。ラジオ体操が昭和初めに流行ったが、ラジオの普及は郵便局のネットワークで広まったと聞いている。ラジオの普及よりもラジオ体操が広まったという興味深い報告があった。郵便局で待っている間だけ読んで、持って帰ることも少ないので、部数も少なくてもすむのではないか。

委員：近隣市の市役所に置いてもらうのはどうか。また、都内自治体のスポーツ推進計画を都に全て集めて置いてもらえないのか。

事務局：本市でもQRコードの活用をしているので、QRコード入りのチラシを作成して、QRコードから本編を案内することもできると思う。紙のチラシでなく電子版や概要版につけるのも良いのではないか。チラシ1枚なら予算的にも可能であるし、今後10年に渡る計画なので、継続して見てもらうにも良い。

会長：QRコードからのアクセス数は把握できるのか。

事務局：案内先のアクセス数は把握できる。

会長：本市には公式のSNSはあるのか。

事務局：ツイッターで市政に関する情報を発信しているので、そこに載せることはできる。また、福祉施設や市内の民間スポーツクラブ、可能であれば市内の全小中学校にも配布したい。10年後というと、今の中学生が社会人になっており、その世代への影響は大きいので、体育の先生だけでなく、保健室、校長室と各学校へ3部配布し、朝礼や運動会などの講話の時に校長先生から話してもらえると良い。

委員：大学の体育教官室などは良いと思う。

委員：病院は待ち時間が長く、子どもも普段は見ないようなものでも読むことがあるので、そういった場所に置くことで、親子で話す機会になると良い。

委員：私は、スポーツ以外でも市の方と交流する機会があるので、学校や介護施設、ボランティアセンターなどの関連する場所で目につくところに置くように声かけしたい。また、フレイル予防の取組みを紹介する場もあるので、市内の 500～600 人が集まるような場で紹介もしたいと思う。今後、スポーツの情報発信を進めていくという内容も計画に記載されているので、インターネット上でスポーツの試合結果などを見られるなど、スポーツ推進計画だけでなく、広がりのある方向で情報発信をしていくと良いと思う。もう一つは、スポーツの実施率等のアンケート結果にもあったが、働く世代へスポーツ推進計画をどうアプローチするか、働きながらどのようにスポーツをしていくのかということも大事である。これもインターネットが有効ではないかと思う。あとはサッカー協会のように、子どもの応援にきている保護者の目に届くような掲示をするなども大事だと思う。

会長：行政のホームページだが、台風 19 号の際に、ハザードマップを確認しようと思ったら、アクセスが集中して、ホームページがダウンして見られないということが起こった。ある自治体では、行政も広報をホームページで精力的に行おうといった矢先にホームページのダウンが起きてしまった。興味深いことに、オーストラリアでは観光情報や暮らしの情報を行政のホームページで見ると、日本は民間のホームページを見る。オーストラリアでは、そうした情報発信が市政への参加や社会参加へとつながっている。日本の行政は是正すべきだと思う。こういう柔軟いところから行政のサイトへの信頼性など、是正すべき点の突破口が開けるのではないかと思う。みなさんの考えは共有出来たので、事務局で精査して実践に移してほしい。

(2) 宝野公園球技場整備計画の民間提案について

資料 3 に基づいて事務局より説明

会長：この提案に携わっている委員から補足はないか。

委員：まずは、南豊ヶ丘フィールドは、当時、私ともう一人の担当で発案して作った。東京都も東京都サッカー協会も人工芝のグラウンドを作りたいという要望があり、東京都、東京都サッカー協会、多摩サッカー協会、本市の四者で協定を結んで整備した。完成後は、他に良い練習環境がないと学校からの問合せがたくさんきた。これほどニーズがあるなら駅から一番近い、宝野公園が適しているのではないかという話になったというのが、本提案のきっかけである。当初は、少年サッカーの和田公園あたりはどうか、という話だったが和田公園は管理が難しくなった。公園名も東京都サッカー協会の冠のついた名前になる可能性があるが、公園を整備することによりサッカーだけでなく他の競技団体も利用できるようになる。サッカー協会は、会社もしくは政令指定都市の体育協会などではないので toto に申し込む資格がない。そこで東京ヴェルディが代行して手続きを行うことになり、昨年から素案を考えて市に相談した。その後、多摩サッカー協会からも出資できることとなり、財源の目途が付いたので本計画が動き出したところである。

委員：クラブハウスで飲酒できると良い。

委員：砧公園などは販売をしているようだが、特別な許可を取らないと難しいようだ。

- 委員：ヨーロッパでは飲酒ができ、むしろ重要な財源となっている。
- 委員：テラス席や防災倉庫を作って、市民に利用してもらえる環境にしたい。子どもが遊ぶスペースとしては、現在設置されているプレイロットは利用されていないので、市民へ 24 時間開放して利用できるスペースを設けようと考えている。
- 委員：倉庫はどこにあるのか。また、テントやベンチはどこに設置するのか。
- 委員：今現在は駐車場近くにあるが、撤去する予定である。テントやベンチは、管理棟に設置する予定である。
- 委員：暑さ対策でベンチにも屋根がないといけないのではないかな。
- 委員：テントなども新しいものに対応しようと話している。一番は現在、更衣室、シャワー、自動販売機等もないので、もう少し良い環境でプレーできる場所を作りたい。都の建築指導課、開発事務所とも話をしているが、公園の管理者である市の許可がないとできない。
- 委員：芝生になったら有難い。子どもがサッカーをやっているが、近隣市から来る人は、駐車場や自動販売機がなくて困っている。土のグラウンドだと洗濯も大変である。アルコールを販売すれば、花見の際も売れるのではないかな。ラグビーワールドカップが開催されているが、外国人が日本でお金を使っているのを見ると、本市にももっとそういった場所があれば良いのにと考えた。このように先駆けて始めることはとても良い。
- 委員：南豊ヶ丘フィールドは駅から遠いので、駅からのアクセスが良い宝野公園に整備できればサッカーの大会でも利用されるのではないかな。
- 委員：近くの図書館も改修される予定なので、多摩センター全体が盛り上がる。
- 委員：球技場は成人向けの規模なのか。
- 委員：成人向けになっている。
- 委員：近隣住民の同意が必要だと想う。新たに照明が付くと夜 9 時ぐらいまで明るい状態になるので、近隣住民に対してしっかり説明が必要である。南豊ヶ丘フィールドの立地と違い、住宅地なので、光が敷地外に漏れないような工夫も必要である。
- 委員：照明は LED にするので、一昔前よりは光は拡散しなくなっている。
- 委員：鍵はどのように管理するのか。
- 委員：管理人を常駐させる予定である。
- 委員：今までは自由に入れる公園だったので、鍵をつけて急に入れなくなるので心配である。自由解放は、開放デーだけで良いのか、サッカー場の周りに自由に使える場所があるのかなど、近隣住民への説明は大事だと思う。説明の場では整備に対して反対する意見もでると思うので、その対応をきちんと考えておく必要がある。
- 委員：近隣住民への説明会は、11 月から順次行う予定である
- 委員：観客席にも鍵をつける予定なのか。
- 委員：観客席は入れる状態にして、階段の下につける予定である。
- 委員：ピッチには入れなくなるのか。
- 委員：ピッチには入れなくなるが、アップスペースとプレイロットには入れる。クラブハウスも開放する。
- 委員：南豊ヶ丘フィールドは、雨でも屋根がないため、観客は雨に降られながら応援している。応援席には屋根があると嬉しい。

- 委員：大きな規模のクラブハウスを考えており、イートインスペースの設置も検討している。そこに多くの人が入れるのではないかと考えている。
- 委員：町田市も FC 町田ゼルビアなどスポーツクラブが中心となって運動公園を管理運営しているが苦勞もしている。提案者の負担が多くなるので、市が間に入るなどの調整が必要だと思う。
- 委員：サッカー協会の人も動いてくれる予定である。
- 委員：宝野公園はサッカー専用の球技場になるのか。
- 委員：現在はほぼサッカー専用グラウンドであるが、今後は南豊ヶ丘フィールドのようにいろいろなスポーツで使えるようにしたい。利用に当たっては有料になる。
- 委員：ラインはサッカーコート専用となるのか。
- 委員：要望で他の競技のラインも引けるようにする予定である。
- 委員：それであれば良い。大学でもラグビーやアメフトもできるようになっているので、そういった説明があれば、同意も得やすくなるかもしれない。
- 委員：現状では、宝野公園は申し込んでいない人も利用できているが、管理人が常駐するとなると、そういったことはなくなると思う。
- 会長：事務局の意見はないか。
- 事務局：市としては、有難い提案だと思っている。検討が始まったばかりなので、今後もサッカー協会とコミュニケーションをとりながら実現していきたいと考えている。今日は率直な意見が出たので、皆さんの意見を参考にして進めていきたい。
- 会長：貴重な意見が出されたと思う。一つは、サッカーだけの専用ではない公園にした方が良いという意見、もう一つは周辺住民への配慮が必要だという意見である。この二点をふまえて進めてもらえば良い。民間提案によるスポーツ施設の改修・管理は本市では初めての事例になるのか。
- 事務局：南豊ヶ丘フィールドで実施済みであるが、学校跡地の利用であったので、公園内での取り組みとしては初めてである。
- 会長：今までの振り返りを含め、一人ずつ意見を聞きたい。
- 委員：本審議会に参加できたことが良い刺激となった。本推進計画をどのように市民に広げていくのか、5年後、10年後どう変わるのか、それが一番大事ではないかと思う。
- 委員：緑が多いまちということで本市に引っ越しできたが、自然が多いなど本市の良さを伝えられるようなまちであってほしい。多摩センター駅周辺の話しについて、大きな空き地にはスケートボード場などが整備されれば競技会で人が集まる場になって良いと考えていたが、マンションが建設されて残念だと思っていた。マンションが建っているだけでは、そのまちに行きたいとは思えない。でも、この場のようにみんなで話し合っただけ魅力あるまちにしていこうと考えていければ良いと思う。
- 委員：今は子どもの数が減っているので、野球やラグビーなど人数を集めることに苦勞している。そうした環境では、スポーツの楽しみ方としては、一つに縛らなくても良いのではないかと思う。高齢者が増えていくのでスポーツ人口が増えると思うが、子どもをいかにスポーツ好きにさせていくかがこれからの課題になると思う。
- 委員：会長のスムーズな司会進行のおかげで、委員の意見をうまく引き出してもらえた。スポーツ推

進委員をやっている立場なので、指導的立場として、できるだけ計画に沿った内容を伝えていきたい。

委員：いろいろ意見を言ったり、聞いたりすることが出来て、感謝している。小さい団体の指導や東京都の競技団体に関わった内容を本市に伝えたいと思い参加してきた。この計画ができると10年の指針になるので、もっと意見を言えば良かったという反省点もある。ただ、今日のサッカー協会の話聞いてよかった。スポーツ自体も変わる時期だと感じ、刺激を受けることが出来た。

委員：いろいろな意見を聞いて嬉しかった。みなさんの率直な意見を聞いて良かった。デザインがまだ少し堅いことが心残りである。

委員：大変勉強になった。計画をつくるタイミングが良かったと思う。本市がオリンピックの開催地に決定し、ラグビー大会の開催などある中でのスポーツ推進計画の策定であった。市内に立地するスポーツ系の大学として、PRしていきたい。大学の指導者も入れ替わる時期で、時代の大きな動きを感じる中でのスポーツ推進計画の策定であった。大きなうねりをつくっていければ良い。これからの10年、スポーツの活性化に向けてもうひと頑張りしたい。

会長：いろいろ勉強させてもらった。デザインも大変楽しみにしている。先日、私の研究室で事務局と打合せをしたが、表紙のデザインの打合せになった時に、デザイナーを交えた打ち合わせをゼミの学生に見てもらった。たった表紙1、2頁の内容の検討について、多摩市のイメージを持ってもらうために、デザイナーには事前に市内を歩き回ってイメージを掴んでもらい、デザイン案を作成したという話を聞きながら、とても良い雰囲気での意見交換になった。その様子を見た学生が「多摩市楽しそう。多摩市で働きたい。」と言っていた。このワンシーンが象徴的で、本審議会の姿を表していると思う。事務局にも感謝を述べたい。

【4 その他】

第5回審議会について

日時：11月14日（木）16：30～ 特別会議室

【5 閉会】

会長

委員